

2022年10月20日

プレジジョン・システム・サイエンス株式会社

株主各位

第37回定時株主総会 事前質問へのご回答および質疑応答概要

当社では、最近の情勢等により株主総会当日の出席をされない株主様を念頭に、第37回定時株主総会の開催に先立ち、株主様からのご質問を、専用のウェブサイトで受け付け、多数のご質問やご意見を頂戴いたしました。事前質問をお寄せいただいた株主様には、この場を借りて御礼申し上げます。

事前に頂いたご質問やご意見及び第37回定時株主総会での質疑応答の概要のうち、本株主総会の目的事項に関連し、且つ株主様のご関心が高いと思われる事項について、以下の通りご回答申し上げます。

Q1. 大口の機関投資家を株主として増やして行く計画や方策はありますか？

A1. 2022/6月期において、PSS社の個人株主は約19千人にて総株主約2万人の83%を占めており、重要な株主層として考えています。それぞれ短期的・中期的・長期的な思惑で株式投資を行っていると思定されますが、PSSとしては、事業理念「多様なバイオ分野にて高精度かつユーザーフレンドリーなオープンシステムを全世界に提供し生体(バイオ)情報の有効活用を推進することにより社会に貢献する。」を基にした中期事業計画の推進により、株主の皆様の期待に応えるべく全社員一丸となって事業活動に邁進してまいります。また、大口の機関投資家の獲得は、業績を改善して将来のプライム市場上場に向けた対応のための検討課題と考えています。

Q2. 借入金が過多になることを防ぐため、資本金減資や株式発行の半減、配当金引当金の総額を軽量化させて、全体的な企業軽量化をしてはどうでしょうか？

A2. 現状では、財務体質改善のための資本金減資については不要だと考えています。中期事業計画に定めた事業成長による社会貢献「いつでもどこでも誰でも、正確且つ迅速なPCR検査の実現」を果たすために、銀行団のシンジケートローンによる借入(資金調達)にて、今回設備投資を実施しました。事業収益を銀行借入返済に充てるのはもちろんのこと、サプライチェーン対策のための補助金(補助率3/4)の約20億円も借入金を返済する原資となっています。

Q3. 第 37 期事業報告書(株主通信)記載の第 38 期予想(遺伝子抽出試薬)テスト数が 5,000 千 test となっています。機器売上も含めた売上計画 74 億との整合性は取れますか。

A3.整合性は取れております。自社の装置である geneLEAD や magLEAD に使われる PSS 独自の遺伝子(核酸)抽出試薬は、当社ビジネスの基盤であり「機器・試薬両方の生産・販売能力を高め安定した継続供給体制を構築する。」をコンセプトとしたビジネスモデルを追求しています。PSS 大館試薬センター第 2 工場への投資にて、その体制が整ったものと考えています。

2022 年 6 月期(第 37 期)は、計画 6,573 千 test に対し、実績 4,900 千 test、達成率約 75%でした。現状の事業環境及び進捗状況を鑑みて、直近では PSS ブランド抽出試薬の急拡大は期待できず中期事業計画(2023/6 月期~2025/6 月期)では、当初計画を下方修正して 2023 年 6 月期(第 38 期)5,000 千 test を計画するものの、下記に示した 3 つの強化ポイントを踏まえた成長戦略「5 つの戦略的テーマを推進」の実施により、2025 年 6 月期(第 40 期)10,000 千 test を目指します。

・中期事業計画方針 3 つの強化ポイント(下線)を踏まえた 5 つの戦略的テーマを推進

1,既存 OEM 製品に頼る体質からの脱却

- ①OEM 向け新製品上市と自社新技術製品上市対応による販売製品の拡充
- ②全自動 PCR 診断装置専用 PCR 試薬調達の契約締結による検査項目の拡張

2,営業販売体制の基本的改革

- ③全世界への OEM 向け販売実績を踏まえた自社ブランド製品の国内外販売網拡大
- ④新宿ラボトリー開設と衛生検査所登録による PCR 検査受託事業開始

3,PSS 大館試薬センター第 2 工場を中核としたサプライチェーンの有効活用

- ⑤PSS 大館試薬センター第 2 工場設立による量産体制確立

これらのテーマを全社員一丸にて推進して、株主の皆様の期待に応えていく所存です。

Q4. サプライチェーン対策のための補助金の減額リスクについて教えてください。

A4.補助金対象の PSS 大館試薬センター第 2 工場は、2022 年 7 月より稼働を開始しており、今後、経産省より監査を受けます。やるべきことは順調に進んでおり、サプライチェーン対策のための補助金の減額リスクは低いと考えています。

Q5.1 号議案について、定款を変えてまで監査役員数を増やす理由は何ですか?日頃の監査役的活動状況を教えてください。

A5.当社としてはコンプライアンス強化が必要と考えており、そのために監査役を増員いたしました。監査役は取締役会等、重要会議の出席、内部監査室の連携、各取締役及び部長に対してのヒアリングを通じて、課題の把握、対策の進捗状況をチェックしています。

以上